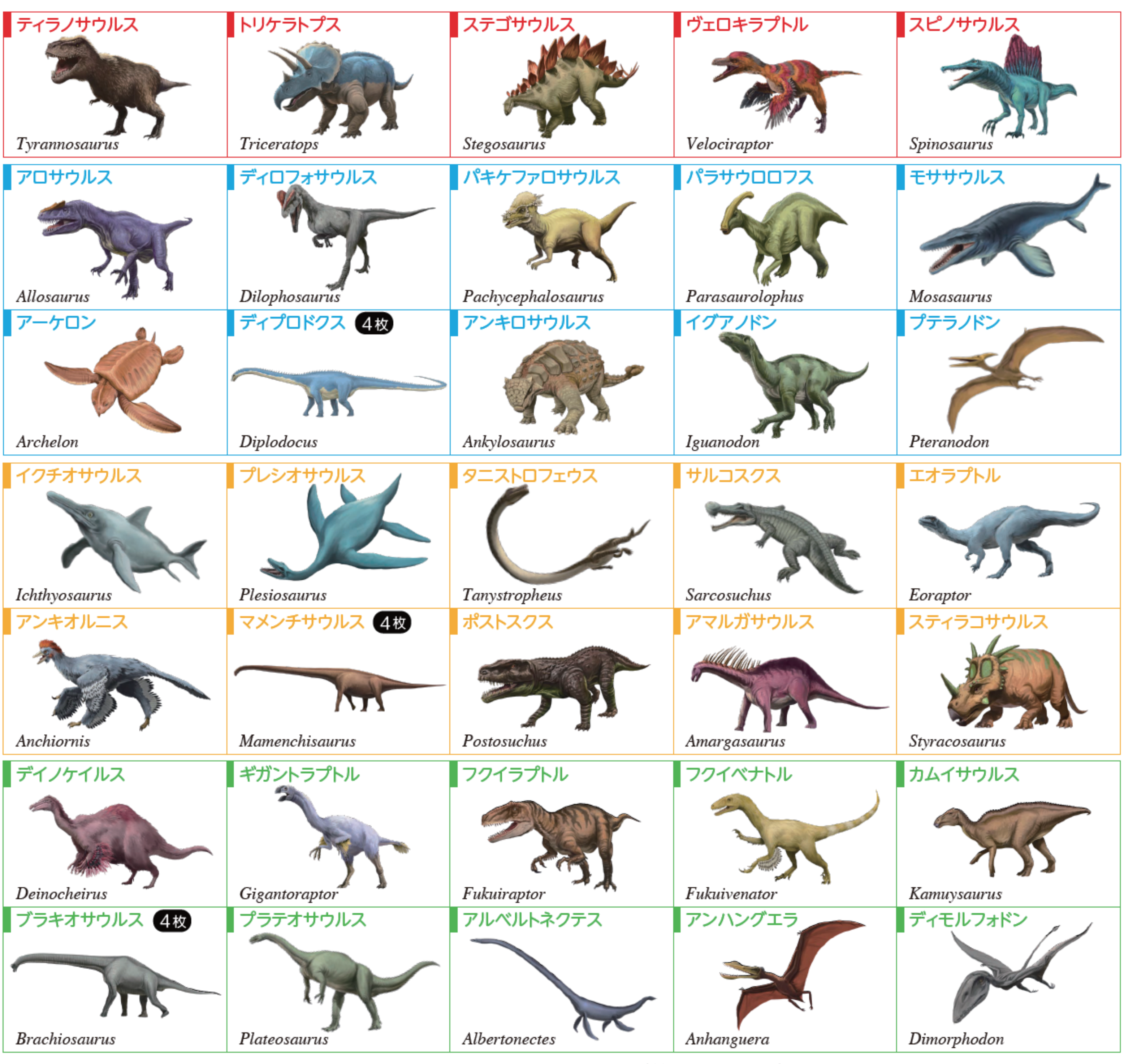
# カードに登場する恐竜一覧



| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ティラノサウルス<br>*Tyrannosaurus* | トリケラトプス<br>*Triceratops* | ステゴサウルス<br>*Stegosaurus* | ヴェロキラプトル<br>*Velociraptor* | スピノサウルス<br>*Spinosaurus* |
| アロサウルス<br>*Allosaurus* | ディロフォサウルス<br>*Dilophosaurus* | パキケファロサウルス<br>*Pachycephalosaurus* | パラサウロロフス<br>*Parasaurolophus* | モササウルス<br>*Mosasaurus* |
| アーケロン<br>*Archelon* | ディプロドクス 4枚<br>*Diplodocus* | アンキロサウルス<br>*Ankylosaurus* | イグアノドン<br>*Iguanodon* | プテラノドン<br>*Pteranodon* |
| イクチオサウルス<br>*Ichthyosaurus* | プレシオサウルス<br>*Plesiosaurus* | タニストロフェウス<br>*Tanystropheus* | サルコスクス<br>*Sarcosuchus* | エオラプトル<br>*Eoraptor* |
| アンキオルニス<br>*Anchiornis* | マメンチサウルス 4枚<br>*Mamenchisaurus* | ポストスクス<br>*Postosuchus* | アマルガサウルス<br>*Amargasaurus* | スティラコサウルス<br>*Styracosaurus* |
| デイノケイルス<br>*Deinocheirus* | ギガントラプトル<br>*Gigantoraptor* | フクイラプトル<br>*Fukuiraptor* | フクイベナトル<br>*Fukuivenator* | カムイサウルス<br>*Kamuysaurus* |
| ブラキオサウルス 4枚<br>*Brachiosaurus* | プラテオサウルス<br>*Plateosaurus* | アルベルトネクテス<br>*Albertonectes* | アンハングエラ<br>*Anhanguera* | ディモルフォドン<br>*Dimorphodon* |

※【体色・体表について】このカードで紹介している中では、「アンキオルニス」を除き、化石から体色が判明している種類がないため、現在の鳥の色などを参考に、絵合わせで見分けやすい体色にしています。羽毛の有無は、現在の研究に基づき、考えうる姿として復元しています。

# おもな遊びかた

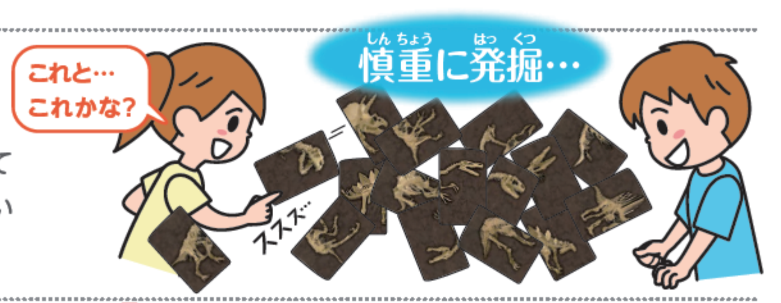
## 化石発掘ゲーム

【遊べる人数】
何人でも

❶ カードをよく切り、図のように骨格面を上にして広げ、**発掘現場**を作る。

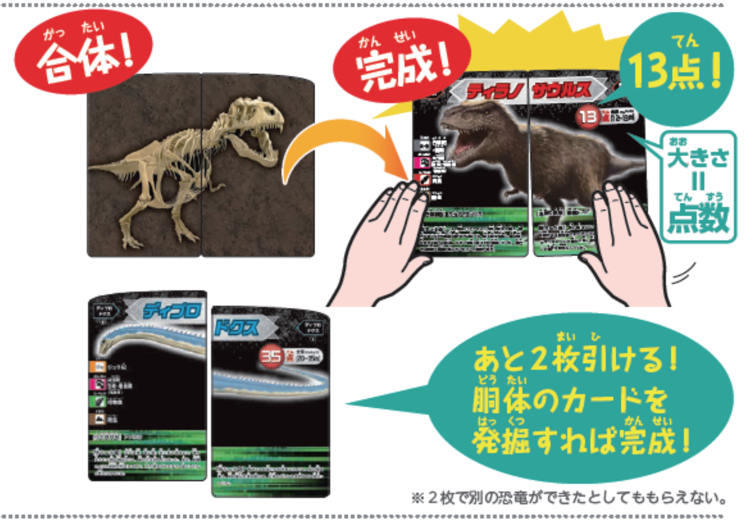
- ●名前の色ごとに分けて、少ない枚数の発掘現場からチャレンジしよう。ただし、名前が赤の恐竜5種のカードだけで発掘現場を作る場合、プレイ人数は2人など少ない方がよい。赤＋青にするなど、人数に合わせて、カードを増やそう。
- ●重なりが多いほど難易度が上がるので、最初は重なりが少ないように並べよう。

❷ 順番を決める。自分の番で、発掘現場からカードを2枚引く。
**引くカード以外のカードに触ってはいけない。**
触ってしまったら、その番は終了。すでに引いたカードがあっても発掘現場に戻そう。(引く際に、カード同士がぶつかって動いてしまうのはOK)。


これと…
これかな?
慎重に発掘…
ススズ…

❸ 2枚引いたら裏返し、恐竜が完成したら、カードをもらえる。
その**カードに書いてある得点が自分の得点として加算**される。
恐竜が完成しなかったら、カードを発掘現場に戻す。戻す場所はどこでもよいが、戻す時も他のカードに触ってはいけない。
触ってしまったら、次の番は1回休み。
(※神経衰弱のように、当たってももう1組引くことはできない。)

★ 4枚で完成する巨大恐竜「ディプロドクス」「ブラキオサウルス」「マメンチサウルス」の場合、同じ種類の2枚を引くことができたら、続けてもう2枚引くことができる。4枚で完成したら、高得点ゲット！完成しなかったら、他のカードに触らないように、4枚すべて発掘現場に戻す。



※2枚で別の恐竜ができたとしてももらえない。

❹ 発掘現場のすべてのカードを発掘したら、ゲーム終了。
手持ちのカードの得点を計算し、
**一番得点が高かった人の勝ち。**

| | ぼく | おねえちゃん | ママ | パパ |
|---|---|---|---|---|
| | 35点 | 1点 | 1点 | 12点 |
| | 13点 | 3点 | 8点 | 11点 |
| | 9点 | 12点 | 25点 | 12点 |
| | | | 8点 | 9点 |
| 合計 | 57点 | 16点 | 42点 | 44点 |

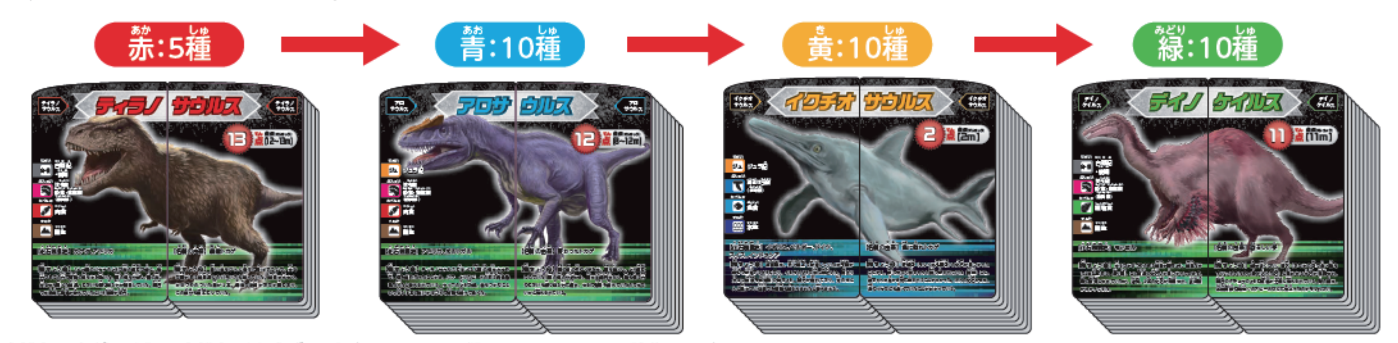
合計57点で
ぼくの勝ち！

●得点の計算は2ケタのたし算のため、計算ができる人がいない(または電卓がない)場合は、**取ったカードの枚数が一番多い人が勝ち**にしてもOK。

## 絵合わせ遊び

【遊べる人数】
何人でも

① 恐竜の生体面を上にして並べ、恐竜の前半身と後半身を探して組み合わせ、恐竜を完成させよう。
最初は、赤い名前の恐竜だけ、次は、青い名前の恐竜、黄色の名前の恐竜、緑の名前の恐竜と分けてチャレンジすると見つけやすい。
青、黄、緑のカードには、4枚で完成する巨大恐竜が1種類ずつ入っているので、探してみよう。



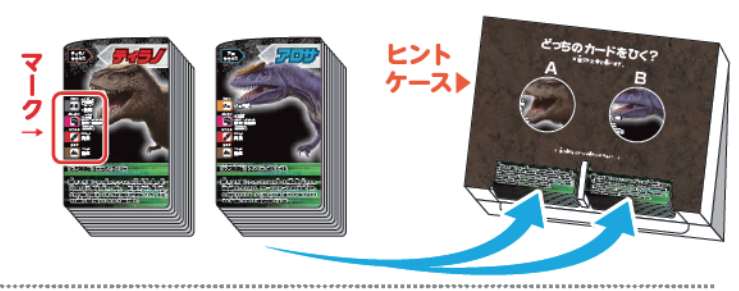
※恐竜の名前の色は、恐竜の人気度や見分けやすさ、遊びやすさなどを考慮して分けています。

② 慣れてきたら、骨格面でもチャレンジ！
骨を合体させたら、裏返して答え合わせしよう。

## 仲間集めゲーム

【遊べる人数】
2〜4人

❶ **マークのついている前半身のカードだけ**集め、カードをよく切り、骨格面を上にして全員に3枚ずつ配る。互いに、生体面が見えないように手元に持つ。残りのカードを2つの山に分け、恐竜の生体面を上にして**ヒントケース**のA,Bに入れる。(骨格面を上にすると難易度アップ！)



❷ 順番を決める。自分の番で、ヒントケースから1枚引く。引く時にのぞき窓から見えるイラストや、書いてある情報をヒントに、**AとB好きな方を選んでよい。**引いたら、生体面を上にして1枚捨てる。
(引くカードがなくなったら、捨てカードの山をよく切ってケースに入れよう。)

捨てた**一番上のカード**は
他の人がゲットできる。

※ほしい人が2人以上いたら、順番が近い人がもらう。
※もらったら1枚捨てる。その捨てカードは他の人はもらえない。
※捨てカードをだれがゲットしても、次にカードを引く人は順番通りに。

相手のカードの骨格面を見て、
相手の集めたいカードを予測
できるかな？

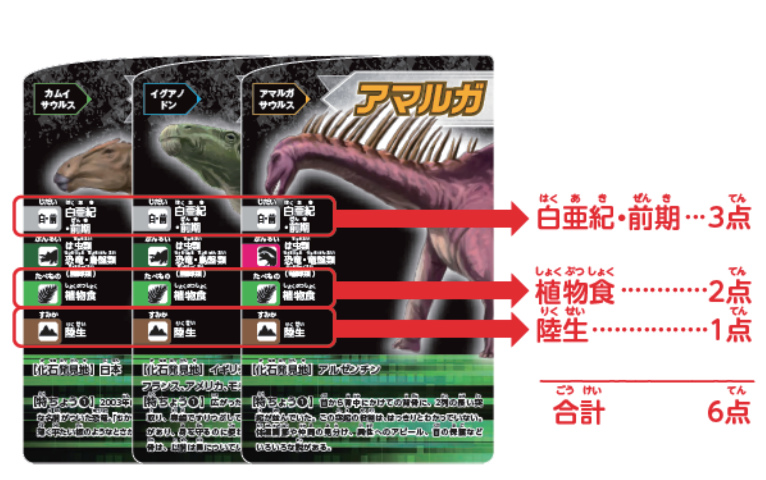
❸ 図のように3枚の中で同じマークがたくさんそろうほど、得点がアップする。それぞれのマークの得点は下の表参照。

最初からそろっているマークがあっても、**全員必ず1回は、カードを引いて捨てる**こと。得点の低いマークは、皆最初からそろっていることが多いので高得点をねらおう。

【マークの得点表】

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1点 | 陸生 | | | |
| 2点 | 植物食 | 白・後 白亜紀・後期 | は虫類・恐竜 竜盤類 | |
| 3点 | 肉食 | 魚食 | ジュ ジュラ紀 | 白・前 白亜紀・前期 |
| 4点 | 水生 | 海生 は虫類 | は虫類・恐竜 鳥盤類 | |
| 5点 | は虫類 翼竜類 | 三 三畳紀 | 他 その他の は虫類 | |

※ 白・前後 のようにマークが2種類の場合は、どちらでも使える。
※ の昆虫食は、1枚しかないため、得点にはならない。



❹ この得点で勝負！と思ったら、自分の番で「勝負！」とコール。
全員がカードをオープンし、手持ちのカードでの得点をそれぞれ記録しよう。
これを3回くり返し、**一番得点が高かった人の勝ち！**

- ●自分の番で、カードを引かずにコールしてもよい。
- ●他の人が捨てたカードを取ってマークがそろっても、自分の番まではコールはできない。

| | ぼく | おねえちゃん | ママ | パパ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 5点 | 3点 | 1点 | 0点 |
| 2 | 3点 | 3点 | 6点 | 0点 |
| 3 | 7点 | 8点 | 5点 | 11点 |
| 合計 | 15点 | 14点 | 12点 | 11点 |

合計15点でぼくの勝ち！

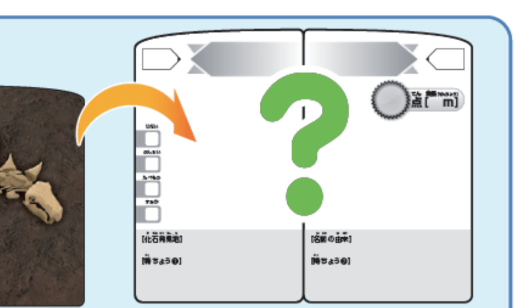
## オリジナル恐竜カードを創ろう！

### 「オリジナル恐竜」を創ろう！

身につく力 ❸❹ 探求力・創造力
自ら探求する・自分で創る

自分で考えたオリジナルの恐竜を創っちゃおう！
骨の特ちょうをよく見て、自由に恐竜の生体図を描き、名前や特ちょうを考えてみよう！

オリジナル恐竜カード▶



**オリジナル恐竜を考える時のヒント**

- ●似ている骨…他の恐竜カードの中で似ている骨格の恐竜を参考にしてみよう。
- ●歯や足などの形…歯や足などの骨の形をよく見よう。肉食？植物食？どんな生活をしていたのかな？
- ●突起の形…その突起は何に使われたのかな？自由に考えてみよう。
- ●体の色…恐竜の体の色はほとんどわかっていない。自由に考えて色を塗ってみよう。